

みなみかぜ

熊本社会福祉協議会 南区事務所だより 秋号 R3.9

発行元

熊本社会福祉協議会南区事務所

熊本市南区城南町宮地 1050

TEL0964-28-7030

FAX0964-28-8750



夏休みだから伝えたい 福祉のこころ

福祉の仕事に興味がある、施設の仕事を知りたいという高校生を対象に「令和3年度 高校生サマースクール in 南区」を実施しました。ささえりあの役割や、福祉施設の仕事の内容についての講話、高齢者疑似体験の学習をしました。

参加した生徒からはささえりあが多様な専門家が集まって高齢者の支援を行っていることや、施設職員が相手の気持ちを尊重して笑顔を大切にしながらコミュニケーションを取っていることが分かって良かったとの感想でした。又、体験学習では今まで体験したことがない車いすや高齢者疑似体験を通じて相手に寄り添うことの大切さを学びました。

今後のボランティア活動につながるサマースクールとなったと思います。



車椅子体験



高齢者疑似体験



体験学習を終わって

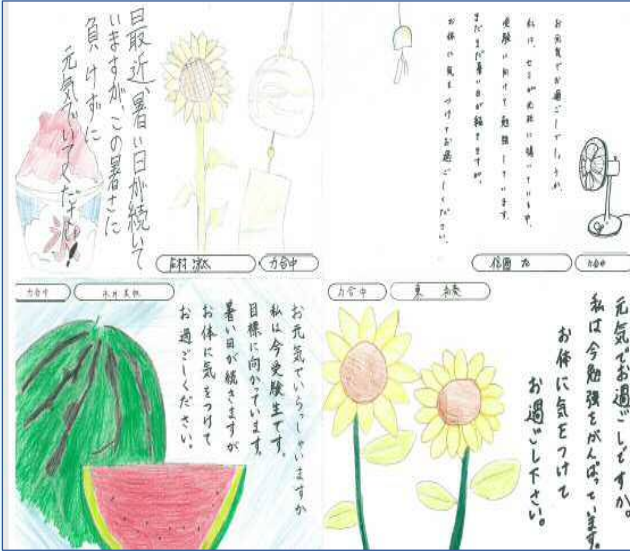
参加した生徒の感想です。

- 人と接する職業は楽しそうで、人のことを思いやることは、相手もうれしくなるのかなと思いました。
- コミュニケーションも大切だし、相手の方によりそい、話を聞いてあげるのも大切なことだと知ることができました。
- 「職員が高齢者を介護する」というイメージだったが、色んな役割を持つ人がたくさん工夫を凝らして介護していることを知ることができました。
- きついただけだと思っていたけど、感謝の気持ちや、人と人との支えによって成り立っていることが分かりました。
- 福祉の仕事は、精神的にも肉体的にもハードな仕事だが、利用者の方が安心して気持ちよく過ごして喜んで下さることにやりがいを感じられるような素晴らしいお仕事だと思いました。

協力 高齢者支援センター ささえりあ熊本南、特別養護老人ホーム 力合つくし庵
実施日 令和3年7月24日 土曜日 13時~15時、場所 南部公民館ホール

届いているよ みんなのメッセージ

天明中学校、力合中学校の生徒が書いたメッセージカードを、民生委員からコロナで外に出る機会の少なくなった高齢者に届けてもらい、元気を出してもらう事業を実施しました。今年度は初めて南区内の福祉施設へもメッセージカードを届け、入所者や利用者の方たちにも見てもらいました。



喜びの声

同じ町内に住んでいる孫ですら会えないお年寄り達にとって、地域の孫たちからの手紙はとても嬉しかったようです。天明中127枚の手紙を自分の孫からもらった手紙と思って涙していました。本当に素晴らしい取組みだと思います（天寿園米満施設長より）。



南区事務所からのお知らせ

●ふれあい・いきいきサロン保険とボランティア行事用保険のご加入者へ

コロナ感染症や台風等の自然災害により行事を中止する場合は保険金の払い戻しができますので、お早めにお電話ください。

●コロナの影響により生活にお困りの方へ

コロナ感染症の影響による休業や失業等により、生活資金でお悩みの方に対し、必要な生活費用の貸付を行っています。

ふくしの豆知識

「敬老の日」の歴史

昭和22年に兵庫県多可郡野間谷村（現在の多可町）で9月15日を「としよりの日」とし、敬老行事が行われたことが始まりと言われています。

その後、昭和26年に中央社会福祉協議会（現：全社協）が9月15日を「としよりの日」、同21日までの1週間を運動週間として全国規模で推進しました。昭和38年に公布された老人福祉法で「老人の日」と定められ、昭和41年に祝日「敬老の日」となりましたが、平成13年の敬老の日を9月の第三月曜日とする法改正により、老人福祉法において「老人の日・老人週間」となりました。